

新刊

『国境って何だろう？』

14歳からの「移民」「難民」入門』

内藤正典/著

河出書房新社



Y 334/ナ

#難民条約

#外国人労働者

いま国境を越えて人が動く「移民」、「難民」が世界各地で増えています。なぜそのようなことが起きるかを、考えてみたことがあるでしょうか？
それぞれの地域の事情や現状をわかりやすく伝え、誰にでも起こりうることとして考えていきます。

品川区立二葉図書館

〒142-0043 品川区二葉1-4-25 TEL:3782-2036 FAX:3782-9430

●開館時間●

月曜～土曜日 9:00～20:00

日曜日・祝日 9:00～19:00

●休館日●

第2木曜日 年末年始

特別整理休館日

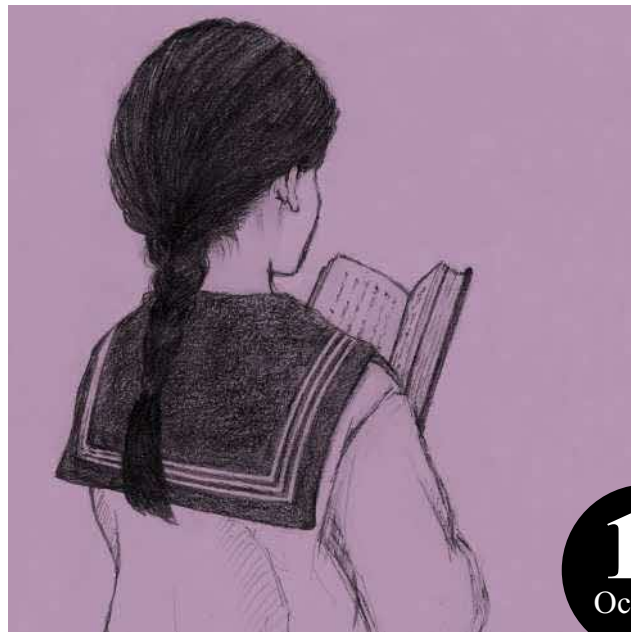
発行:2025年10月

ティーンズブックリスト

Green

あやかし

今月のテーマ：妖



10
October

10月の一大イベント、ハロウィン。日本でもさまざまな催しと関連して、大きな盛り上がりを見せるようになりました。ジャック・オー・ランタンや魔女、おばけなどをモチーフにした飾りつけも、街のあちこちで見かけるこの時期。あらためて、古今東西の怪異や妖しい存在に触れる本を、楽しんでもみるのはいかがでしょうか。



『博物館の少女 怪異研究事始め』

富安陽子/著
偕成社



¥913/ト

#古美術

#不老不死

かほうどう

大阪の古物商「花宝堂」の娘・花岡イカルは13歳。ひとりで東京へやって来ました。両親があいついで亡くなったため、遠い親戚の老夫婦を頼ることになったのです。行儀作法に厳しい家で、新しい暮らしにとまどうイカルでしたが、上野の博物館を見物し、展示品の素晴らしさに夢中になります。そして父の店で培った鑑定眼を館長に認められ、博物館の古蔵で働くことに。そこには、怪異学の研究のために集められた古い品々がたくさん眠っていました。

明治時代の東京を舞台に、目利きの少女が活躍するファンタジー。

『太陽の地図帖 水木しげる 日本の妖怪・世界の妖怪』

荒俣宏/監修
平凡社



¥388/ミ

#妖怪調査旅行

『ホラー・クリッパー 吸血令嬢カーミラ』

令丈ヒロ子/文
ジョゼフ・シェリダン・レ・ファニユ他/原作
ポプラ社



¥933/ホ

#吸血鬼

『ローズさん』

澤井美穂/作
中島梨絵/絵
フレーベル館



¥913/サ

#都市伝説

『妖怪アパートの幽雅な日常①』

ゆうが
こうづきひのわ
香月日輪/著
講談社



¥B913/コ

#シリーズ